



した事業を行いました。大作戦最大のイベントでもあった「絆フェスティバル」は、市内の20を超える団体を含む、約千200人も参加によって障がい者スポーツ交流会や高齢者・妊婦体験、手話の体験講座などを行い、福祉を身近に感じてもらった。また、認知症への理解を深めるための「認知症サポーター養成講座」でも、小学生を対象としたキッズサポーターを含め、目標としていた受講者4千人を大きく超え、市民の関心の高さをうかがうことができました。

**3 「ふくしのまちを作りましょう」**

人のつながりを大切にし、すべての市民が安心して生活できるまちの基盤を整えるための事業を行いました。地域の交流や友人・仲間作りのきっかけとなる「ふれあいサロン」は、町内会や商店会などを実施主体として、現在市内17カ所で活発に行われており、今後の広がりが期待されています。また、誰もが社会参加できるまちを目指し「障がい者就労講演会」を始めとする就労支援事業にも積極的に取り組んでおり、今年度以降も継続してサポートしていきます。その他、とまこまい「生活あんしんナビ」や「サポートカード」の全戸配布など、目に見える福祉情報の充実を図りました。

いずれの事業も、多くのボランティアや善意の方に支えられて実現したものです。